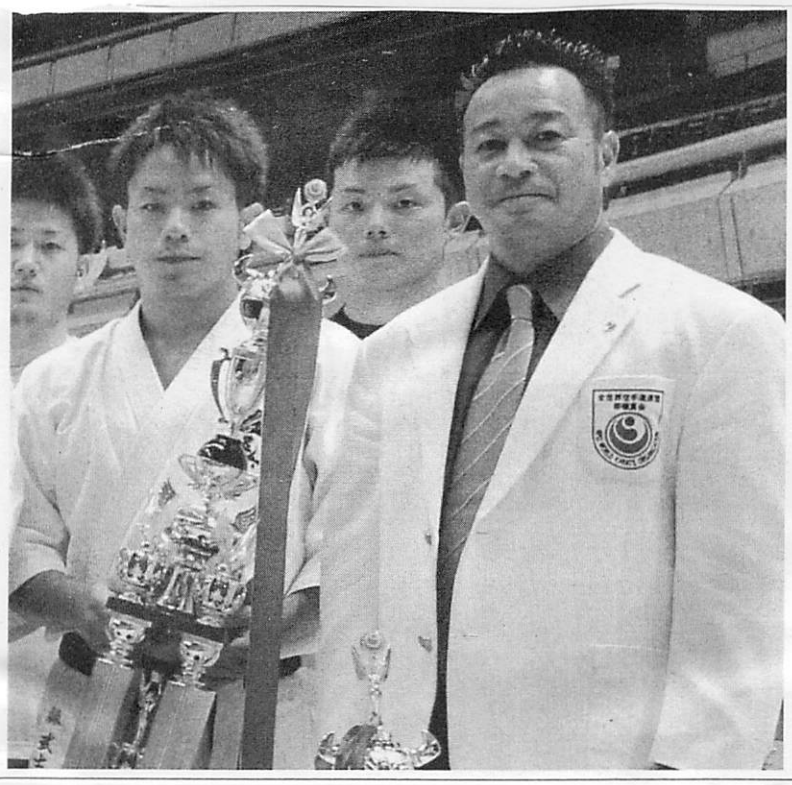
奄　美　新　聞

２０１３年(平成25年)８月２４日　土曜日

緑武士（古仁屋高3年）準優勝

カラテドリームカップ



緑代表と準優勝した武士（提供写真）

東日本大震災復興支援チャリティー・骨髄バンクチャリティーオープントーナメントカラテドリームカップ2013全国大会（NPO法人全世界空手道連盟新極真会主催）が17、18の両日、東京都の東京体育館であった。大会には型・組手46部門に1425人が出場。奄美から4人が参加し、古仁屋高校3年緑武士が高校3年男子軽量級組手で2位となった。

準優勝した緑武士は緑健児代表の二男。「優勝を狙っていたが、1回戦から苦戦を強いられた。決勝では『上段技あり』で負けたので悔しかった。来年は優勝できるよう頑張りたい」と語った。

オフィシャルサイトで緑代表は「非常に高いレベルの試合が繰り広げられた。お互いライバル意識は持って戦ってほしい。空手を通して、精神面も強くしてほしい。来年は国際大会。全世界から多数の選手が参加するので、頑張ってほしい」と大会を講評している。

奄美新聞
(7)　2013年(平成25年)8月28日　水曜日

奄美関係5人全員入賞

福岡県空手道選手権大会

青少年育成チャリティー第10回オープントーナメント福岡県空手道選手権（NPO法人世界空手連盟新極真会福岡支部主催）が25日、同国際センターで開催された。大会には組手42部門の総勢701人が出場。瀬戸内町出身の選手1人、奄美支部（220人在籍）から出場の全4人を含む5人が3位入賞を果たした。

入賞（3位）したのは一般男子の部・無差別級で竹島雅之（瀬戸内町出身）、緑武士（古仁屋高校3年）、高校男子軽量級で山倉竜馬（古仁屋高校2年）、中学生の部で福島大智（古仁屋中3年）、栄慎之助（古仁屋中2年）の5人。

この結果を受け、同会奄美支部緑健児代表は「参加者700人を超える、九州最大の大会で、奄美支部から参加した4人、さらに奄美出身の選手が入賞できたことは良かった。（奄美の）暑さなどコンディション調整が難しいなか、4人が高い意識で苦しい稽古を乗り越えた成果。11月の鹿児島県大会でのさらなる活躍を期待している」と話した。

緑代表と入賞した5選手。後列右より緑、竹島、前列右より栄、福島、山倉（提供写真）